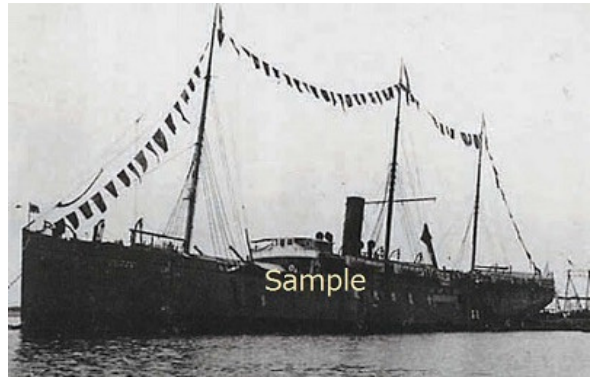


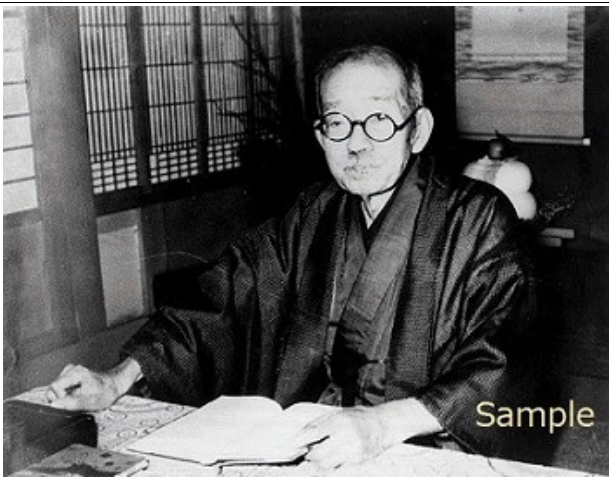
◀ 写真見本 ▶



1900(明治 33)年：オランダより輸入されたじょれん式浚渫船「市松丸」



1906(明治 39)年：巡航博覧会船「ろせった丸」入港



1907(明治 40)年：名古屋港開港（写真は開港から40年にわたり港の発展に尽力した初代専任港務所長の奥田助七郎氏）



1908(明治 41)年：木材船初入港（日本郵船「東部丸」）



1937(昭和 12)年頃：昭和 11 年に完成した中央ふ頭と外国貿易用の上屋



1955(昭和 30)年前後：中央ふ頭とひき船「竹千代丸」



1959(昭和 34)年：当時問題となっていた名古屋港の船混み



1959(昭和 34)年：戦後名古屋港の急成長を支え、新しいシンボルとして活躍した稲永ふ頭



1959(昭和 34)年頃：みなと祭総踊り



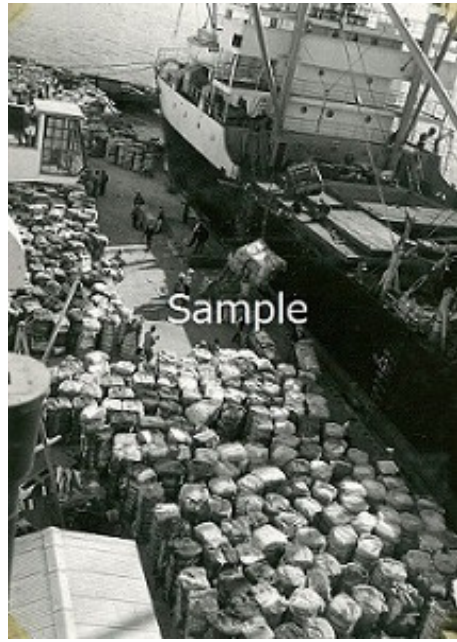
1959(昭和 34)年：伊勢湾台風襲来



1960(昭和 35)年：拡張工事が進められる 9 号地 (現潮見ふ頭)



1962(昭和 37)年：自動車の積み込み



1962(昭和 37)年：綿花の荷役風景



1962(昭和 37)年：木材荷役



1967(昭和 42)年：開港 60 周年の祭塔と音楽隊パレード



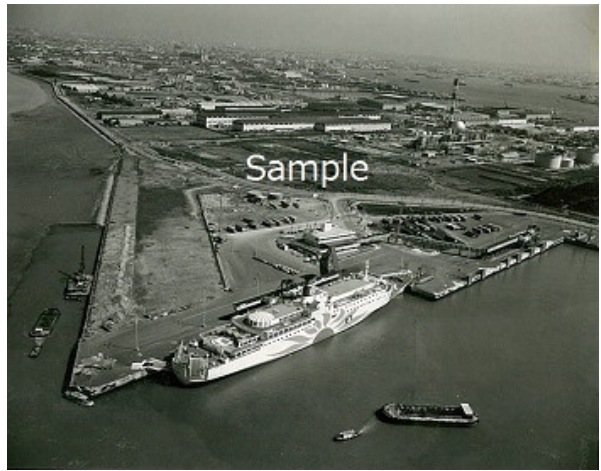
1968(昭和 43)年：フルコンテナ船「箱根丸」名古屋港初入港



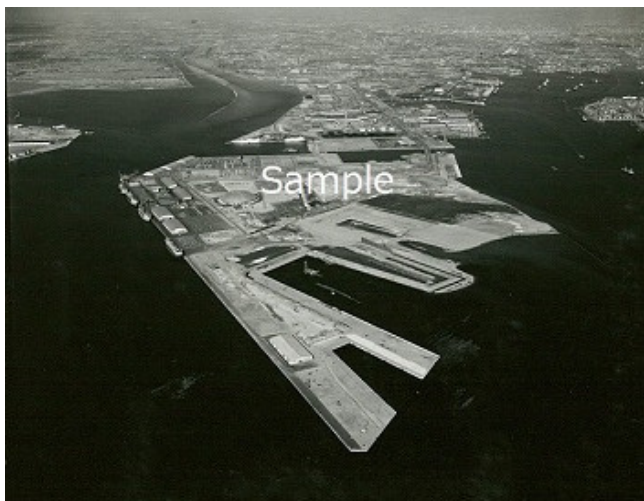
1970(昭和 45)年：名古屋コンテナ埠頭(株)スタート (写真は、昭和 48 年撮影)



1971(昭和 46)年：埋立てが進められる南部・西部



1972(昭和 47)年：フェリーふ頭使用開始



1973(昭和 48)年：整備が進む金城ふ頭



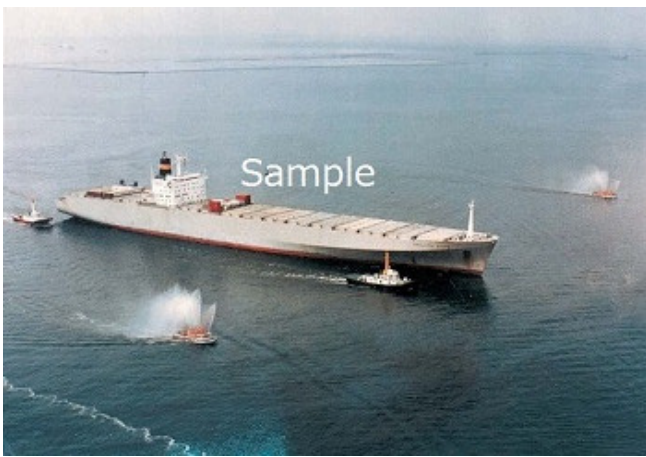
1974(昭和 49)年：木材輸入がピークの頃の西部木材港



1975(昭和 50)年：伊勢湾シーバース完成（写真は昭和 59 年撮影）



1977(昭和 52)年：中央ふ頭と東ふ頭の間を埋め立てる前の 2 号地



1982(昭和 57)年：欧州航路の開設に合わせ、その第 1 船として「ネドロイド・デルフト号」入港



1983(昭和 58)年：建設が進む名古屋港ポートビルと客船「オイローパ」



1983(昭和 58)年：昭和 56 年に埋立てが完成し、ガーデンふ頭臨港緑園が一部オープン(写真は昭和 59 年撮影)



1985(昭和 60)年：名港西大橋開通



1989(平成 1)年：当時活躍していた遊覧船「金鯨（きんこ）1号」と客船「ふじ丸」



1998(平成 10)年：名港三大橋（名港トリトン）開通



1999(平成 11)年：「クイーンエリザベス 2 世号」金城ふ頭に接岸



2001(平成 13)年：名古屋港水族館北館オープン(写真はナイトアクアリウム)



2004(平成 16)年：あおなみ線開業



2004(平成 16)年：新舞子マリンパーク内に風力発電施設完成



2007(平成 19)年：名古屋港開港 100 周年（写真は記念式典の様子）



2007(平成 19)年：帆船「日本丸」と「海王丸」の入港